

《到達目標》

- (1) 相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序がわかるように、語や文の続き方に注意して文や文章が書けるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

学習計画 (総授業時間数 272時間)

学期	単元	学習内容
前期	うれしいひ	・絵から見つけたことや想像したことを話そう
	はきはきあいさつ	・あいさつの言葉を考えてはきはきはなそう
	おはなしききたいな	・お話の楽しさを味わおう
	あいうえおのうた	・あいうえお ・じをかこう
	あめですよ	・お話の楽しさを味わおう ・ふたとぶた
	わにがわになる	・ことばあそび
	はなしたいな ききたいな	・自分のことを話そう ・ねっこねっこ
	あひるのあくび	・みんなで あいうえお
	てがみ	・気持ちをかんがえよう
	てがみをかこう	・楽しく手紙をかこう ・おばさんと おばあさん
	どうぶつの はな	・書いてあることはなんだろう ・いしやと いしゃ
	きいて きいて/よんで よんで	・家族の人や友だちに話したり書いたりして知らせよう ・は を へ
	おおきなかぶ	・楽しんで読もう ・ほんがよみたいな ・みんなにしらせよう
	かんじの はなし かぞえうた	・漢字を正しく書こう ・かずをあらわすかんじ ・じゅうさくぶん
後期	おはなしだいすき	・サラダでげんき ・ことばあそびうたをつくろう・じゅうさくぶん
	のりもののことをしらべよう	・いろいろなふね
	ようすをおもいうかべながら	・おとうとねずみチロ ・じゅうさくぶん ・かたかなをかきましょう・ことばのひろば
	よく見てかこう	・わたしのはっけん・ことばのひろば ・よう日のかん字をおぼえましょう
	いろいろなじゃんけんについて	・じゃんけん ・なんのなかまでしょう・ことばのひろば
	おはなしをたのしもう	・はるのゆきだるま・ことばのひろば ・かたちに気をつけてかきましょう ・じゅうさくぶん
	すきな本のことをかこう	・本とともだち

《評価の観点》

《国語への関心・意欲・態度》

国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書しようとする。

《話す・聞く》

相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないできいたりする。

《書く》

経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。

《読む》

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。

《言語についての知識・理解・技能》

音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法 (授業の工夫・家庭学習)

- 学習プリントやかん字ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- 朝学習で、スピーチをしたり、音読をしたりします。
- 読書タイムでは、ブックトークを行います。
- 書くことや話すことについて段階をおって継続的に指導します。
- 家庭学習では、音読カードに取り組みます。

《到達目標》

- (1) 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようになるとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

学習計画（総授業時間数 280時間）

学期	単元	学習内容
前期	たのしく声に出して読もう	・のはらのシーソー・おがわのはる・たけのこぐん
	丸、点、かぎをつかおう	・句読点やかぎを正しく使って文章を書く。
	みんなのまえて話そう	・教えてあげる、たからもの
	手紙で知らせよう	・知らせたい相手のことを考え、簡単な取り立てを考えて手紙に書く。
	かたかなで書こう	・片仮名を正しく使う。
	じゅんじょに気をつけて読もう	・たんぽぽ
	まよい犬をさがせ	・わかりやすく話すとともに、大事なことを聞き取る。
	ようすや気持ちこそうぞうしながら	・雨の日のおさんぽ
	かん字の書き方に気をつけよう	・筆順や画数を理解し、漢字を文や文章の中で書く。
	お話のじゅんばんを考えよう	・ニャーゴ
後期	じゅんじょを考えて	・事柄の順序に注意しながら、したことについて書く。
	じゅんじょよくせつめいしよう	・おもちゃまつりへようこそ
	たのしいお話をたくさん読もう	・名前を見てちょうだい
	かんじたことを	・身の回りのものの特徴や様子などについて思ったことや感じたことを、分かるように書く。
	どうぶつのひみつをみんなできぐろう	・ピーバーの大作
	組み合わせたことばをつかおう	・複合動詞の構成や意味・使い方を理解し、言葉に関心を持つ。
	見学したことを文しょうに書こう	・わたしの見学ノート
	組になることばをあつめよう	・組になることばについて理解し、言葉を集めたり、分類したりする。
	いろいろなあそびについて話し合おう	・せかゝのかくれんぼ
	主語とじゅつ語に気をつけよう	・主語と述語がきちんと照応する文を書く。
むかし話のおもしろさをあじわおう	・かさこじぞう	
おくりがなに気をつけよう	・送りがなを意識しながら、正しく漢字の読み書きをする。	
書き方をくふうして	・きせつの思い出ブックを作ろう	

《評価の観点》

《国語への関心・意欲・態度》

国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。

《話す・聞く能力》

相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりする。

《書く能力》

経験したことや想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。

《読む能力》

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。

《言語についての知識・理解・技能》

音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事柄について理解している。書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 学習プリントや漢字ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- 朝読書で、読書に親しめるように、本の読み聞かせや本の紹介をします。
- ステップアップタイムで、繰り返し漢字のドリル学習を行います。
- 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導していきます。
- 家庭では、教科書の音読練習や漢字ドリルを使っての反復練習をするようにお願いします。

《到達目標》

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

学習計画（総授業時間数 205時間）

学期	単元	学習内容
前期	場面の様子を思い浮かべながら声に出して読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子や人物の気持ちを想像し、読み方を工夫して音読する。 ・国語辞典の仕組みや使い方を理解する。
	自分を紹介するスピーチをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分について知らせたいことを選び、声の大きさや話す速さを考えて話したり、話し手の話の内容を考えながら聞いたりする。 ・相手や目的に合った文章を書く。 ・言葉の類別川について知り、動詞や形容詞などの活用について理解する。 ・自由作文を書く。
	段落ごとに内容をとらえながら読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとのまとまりに注意して、書かれている内容を正しく読み取る。 ・大事なことが正しく伝わるように、書かれている内容を正しく読み取る。 ・共通する部分を持つ漢字があり、それらが意味の上でも共通性を持つことを理解する。 ・自由作文を書く。
	物語のあらすじを考えながら読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開を読み取って、物語のあらすじをまとめる。 ・出来事を伝えるための必要な要素を落とさずに、文章を書く。
	中心をはっきりさせて説明しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となることを考えて、話の内容を正しく聞き取る。 ・自由作文を書く。
後期	世界の民話を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・民話の面白さを読み味わうとともに、いろいろな民話を紹介する。 ・絵を見て想像した事柄を関連づけて、お話を作る。 ・自由作文を書く。
	いろいろなお祭りについて調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・何が、どのように書かれているかに気をつけて文章を読み、地域の行事を調べて紹介する。 ・漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて理解する。 ・自由作文を書く。
	伝えたいことをはっきりさせて書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な暮らしの中から、自分が興味を持ったことについて調べ、記録文を書く。 ・修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をする。
	よりよい暮らしについて話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれていることを段落ごとに読み取り、盲導犬について調べてわかったことを話し合う。 ・言葉に代わる伝達機能を理解し、身の回りにある伝える働きをするものについて考える。
	中心となる人物の気持ちを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の中心となる人物の気持ちを考えながら読み、一番強く心に残った場面を発表する。 ・指示語の働きについて理解する。 ・自由作文を書く。
	想像したことを書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って、想像したことを工夫して文章に書き表す。

《評価の観点》

《国語への関心・意欲・態度》

国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。

《話す・聞く能力》

相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。

《書く能力》

相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。

《読む能力》

目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。

《言語についての知識・理解・技能》

音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 学習プリントや漢字ドリルを使って、内容の定着を図ります。
- ステップアップタイムなどで、繰り返しドリル学習を行います。
- ペアやグループでの学習で、話し合い活動をしたり、よいところを取り入れたりすることができるようになります。
- 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。
- 家庭では、分からなかった漢字などは調べて復習するようお願いいたします。

《到達目標》

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

学習計画(総授業時間数 205時間)

学期	単元	学習内容
前期	人物の気持ちを想像しながら声に出して読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・ こわれた千の楽器 ・ ふしぎ ・ よかったなあ
	出来事を紹介するスピーチをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字辞典の使い方を知ろう ・ 知らせたい、あんなことこんなこと ・ お礼の手紙を書こう ・ 主語と述語の関係をとらえよう ・ 自由作文
	だん落とだん落の結び付きを考えながら読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤドカリとイソギンチャク ・ 電話で伝え合おう ・ 漢字の読み方に気をつけよう ・ 自由作文
	物語の盛り上がりを考えながら読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏のわすれもの ・ 自分の新聞を作ろう
	筋道を立てて説明しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「くらしの百科」の時間です ・ ローマ字1
後期	愛の心をえがいた物語を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界一美しいぼくの村 ・ 心の目を開いて ・ 自由作文
	いろいろな環境を守る工夫について調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウミガメのはまを守る ・ 自由作文
	中心をはっきりさせて書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう ・ 活動ほう告を書こう
	くらしの中の世界について話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> ・ くらしの中の和と洋 ・ 漢字を正しく使おう ・ 言葉の広場
	人物の気持ちのうつり変わりを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごんぎつね ・ 自由作文
	伝えたいことを選んで書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年間の思い出をしようかいしよう ・ ローマ字2

《評価の観点》
 《国語への関心・意欲・態度》
 国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようすることができる。
 《話す・聞く》
 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりすることができる。
 《書く》
 相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書くことができる。
 《読む》
 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができる。
 《言語についての知識・理解・技能》
 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解することができる。



《評価の方法》

- ・ 活動の様子を観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・ 自己評価、相互評価など

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

学習プリントや漢字ドリルを使って、内容の定着を図ります。
 進んで書く事のできるような場の工夫をし、文章を書く機会を多く設けます。
 朝読書の時間を使って、幅広く読書するようにします。
 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。
 家庭では、音読、読書、漢字の学習を毎日の習慣となるようお願いします。

《到達目標》

- (1) 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

学習計画（総授業時間数 150時間）

期	単 元	学 習 内 容
前 期	一 表現の工夫考えながら声に出して読もう ○言葉の種類に気をつけよう	・心情や情景の読みとり。朗読の工夫。 ・朗読発表会。 ・名詞、動詞、形容詞、形容動詞の違い。
	二 自分の考えを伝えるスピーチをしよう ○質問の手紙を書こう ○国語辞典を活用しよう	・スピーチをするための工夫。メモを作り話す練習。 ・スピーチ発表会。 ・礼状や依頼状の手紙を書く。 ・国語辞典の仕組みと使い方。
	三 文章の仕組みを考えながら読もう ○会話をはずませよう ○漢字の由来に関心を持とう	・書かれている内容を読みとる。 ・関連読書をする。 ・会話を深める練習。 ・四種類の漢字の成り立ち。
	四 強く心に残ったことを考えながら読もう ○相手や目的を考えて	・時、場所、人物、出来事などの観点から読みとる。 ・心に残ったことを感想に書く。 ・関連読書。 ・必要な事柄を整理して書く。
	五 話の組み立てをくふうして ○方言と共通語に関心を持とう	・構成や話し方の工夫調べ。 ・話題を決めて取材。 ・原稿を書き、ニュース発表会。 ・方言と共通語の特徴。
後 期	一 人間の生き方をえがいた作品を読もう ○一枚の地図から	・生き方について考える。 ・伝記を選び、考えなどをメモする。 ・紹介する本のカバー作り。 ・想像して物語を書く。
	二 いろいろな環境問題について調べよう。 ○敬語を適切に使おう	・森林の働きについて考える。 ・内容や筆者の考えを読みとる。 ・資料を集めてブックガイドを作る。 ・敬語の種類や使い方。
	三 ささまざまな角度から考えて書こう ○動詞にそえて使う言葉	・自分の考えをメモにまとめる。 ・工夫して意見文を書く。 ・補助動詞の働きと使い方。
	四 身近な生活について討論しよう ○短歌と俳句を味わおう	・内容や筆者の考えを読みとる。 ・ディベートを行う。 ・短歌と俳句を味わい、朗読する。
	五 表現のおもしろさを考えよう ○熟語の意味を考えよう	・人物の心情の変化を読みとる。 ・本のカバー作りか解説ノート作り。 ・朗読発表会と関連読書。 ・二字熟語の六つの型。
	六 題材や表現に注意して	・昔話を調べる。 ・研究ノート作りや語りの台本作り。 ・発表会

《評価の観点》

《国語への関心・意欲・態度》

国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。

《話す・聞く能力》

目的や意図に応じ、考えた事や伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。

《書く能力》

目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章を書く。

《読む能力》

目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。

《言語についての知識・理解・技能》

音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。



《評価の方法》

- ・授業中の様子、発表、国語ノート、漢字ノート、国語プリント、テストなど
- ・発表メモ、作文など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 学習プリントや漢字ドリルを使って、内容の定着を図ります。また、漢字ミニテストとまちがい漢字練習をします。
- ステップアップタイムで、繰り返しドリル学習を行います。
- 見やすい、分かりやすいノートづくりについても適宜指導をしていきます。
- 家庭では、本読みをきいてやって印をお願いします。チェックを受けた漢字を直しているか見てください。

《到達目標》

- (1) 国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりすることができるようにする。
- (3) 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにする。
- (4) 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにする。
- (5) 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの事項について理解し、文字を正しく書くことができるようにする。

学習計画（総授業時間数 175時間）

学期	単元	学習内容
前期	表現を味わいながら声に出して読もう	・心情や情景を想像し、表現を味わいながら、朗読の工夫をする。 ・朗読発表会を開き、感想や意見を伝え合う。
	漢字辞典を利用しよう	・漢字辞典の仕組みと使い方を理解する。 ・漢字辞典を引く練習をする。
	自分の意見を伝えるスピーチをしよう	・考えや意図が伝わる工夫をして話したり、意図を考えながら聞いたりする。 ・スピーチ発表会をする。
	依頼の手紙を書こう	・依頼の理由、内容を整理し、目的や意図に応じてわかりやすく依頼の手紙を書く。
	ことわざや昔の言い方に関心をもとう	・ことわざなどの言い方に関心を持ち、表現の効果について知る。
	文章の構成を考えながら読もう	・文章の構成を考えて、書かれている内容を正しく読み取る。
	気持ちの良い話し方をしよう	・相手の状況や伝える内容に気を配り、その場に応じた言葉遣いを考えて会話する。
	強く語りかけてきたことを考えながら読もう	・時間の流れに注意し、最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。
	しょうかい文を書こう	・目的や意図に応じて文章の構成を考えながら、簡単に書いたり、詳しく書いたりする。
	役割に応じた話し方を工夫してニュース番組を作ろう	・ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方を工夫して話したり、話し手の工夫に注意しながら聞く。
後期	作家と作品をかかわらせて読もう	・宮沢賢治の生涯について読み取るとともに、作家と作品のかかわりについて自分の考えをまとめて紹介し合う。
	感動をリズムにのせて	・言葉のリズムを生かし、表現を工夫して俳句を作る。
	いろいろな言葉について調べよう	・文章の構成に注意して書かれていることを読み取り、言葉への関心を深める。
	言葉の由来に関心をもとう	・和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語について関心を深める。
	構成を工夫して書こう	・日頃の生活の言葉を見直して問題点を見つけ、書く事柄を整理し効果的な組み立てで文章を書く。
	文末の言い方に目を向けよう	・文末表現には話し手の判断や物事の捉え方が表れていることを理解する。
	わたしたちの「未来」について討論しよう	・文章の内容から筆者の考えを読み取り、「未来」についての自分の考えを明確にする。
	文の組み立てに目を向けよう	・文の骨組みを作る言葉と修飾する言葉を知り、文の組み立てについて理解する。
	人物の生き方を考えよう	・人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけてきたことを紹介し合う。 ・ポスターセッション・読書会・語り
	熟語の構成について考えよう	・三字以上の熟語の構成を理解する。
さまざまな表現方法をいかして「未来へのメッセージ」を書こう	・これまでに学習した表現方法を生かして思い出や将来への願いをまとめることで、主体的に学習する力を身につける。	

《評価の観点》

《国語への関心・意欲・態度》

国語に対する関心を持ち、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする

《話す・聞く態度》

自分の考えを豊かにして、相手や目的に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。

《書く能力》

自分の考え方を豊かにして、相手や目的に応じ、筋道を立てて文章に書く。

《読む能力》

目的に応じて読み取ったり読書に親しんだりする。

《言語についての知識・理解・技能》

表現及び理解の能力の基礎となる発音、文字、語句、文・文章等について理解し、習熟している。書写では、文字を正しく整えて書く。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、発表、ノート、プリント、テストなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 自分の思いを自分の言葉で表現する機会を多く持ちます。
- 自分の思いや考えをノート、プリントに書く機会を増やします。
- 1週間に6つから10の新出漢字を学習し、宿題で練習し、小テスト、まとめテストを行います。
- 教材文や詩集の暗唱を、楽しみながら取りませます。
- 話し合い活動を多く持ちます。
- 一週間に一冊を目標に、時間を確保しながら読書に取り組みます。